

齊藤 昌三(さいとう しょうぞう)

資 料

短冊『南天の 実を散らし 子等風と去り 少雨叟』

・少雨叟は齊藤昌三の号

作 者

1887(明治20). 3. 19—1961(昭和36). 11. 26

神奈川県高座郡座間町(座間市)生まれ。

大正13年から茅ヶ崎に住み、古書を収集し、明治文学の研究書「現代日本文学大年表」(改造社)を編集した。雑誌「いもづる」や「書物往来」などのほか、昭和6年には書物展望社を設立し『書物展望』を刊行する。本の装丁家としても活躍し、竹(『西園寺公望』)や蓑虫(『書齋の岳人』)を使った装丁が有名である。

参考文献

『斎藤昌三著作集(全5)』(後藤憲二／編 八潮書店 1980—81 [県立 020. 8/1/1—5])

『西園寺公望』(木村毅／著 書物展望社 1933. 5

*装丁本 [地域 K28/380 (60542081)]

『書齋の岳人』(小島烏水／著 書物展望社 1934

*装丁本 [県立 049. 1/84(10098507)]

